

▶名古屋グランパス ×日本赤十字社愛知県支部 パートナーシップ協定締結から10年

- ▶ 災害に終わりはない「ACTION! 防災・減災」
- ▶ 救急法等のオンライン講習を開始
- ▶ 新型コロナウイルスに関する啓発教材を配布
- ▶ ウェブサイトがリニューアル
- ▶ クロスサポーターに聞く! 愛知県学生献血連盟 Aichi Go

5月は
赤十字運動
月間です

皆さまのご協力を
お願いいたします

クロス サポーターに

日本赤十字社愛知県支部とタイアップし様々な活動に取り組む企業、団体、人物を紹介します。

「誰かのいのちの為に」
献血を広める若い力

「活動を通じて献血される方が
増えることや、頼もしい仲間の輪
が広がることはとても大きな喜び
です。学生である私たちが活動す
ることで、同世代の方に献血を身
近に感じてもらえるようにしたい
です」と話してくれたのは長谷川
さん。「時に苦勞もありますが、
キャンペーンが終わった時の達成感
と充実感は何ものにも代えられま
せん」と活動の魅力を教えてくれ
ました。

後輩たちにも
受け継がれていく想い

「高校3年生のとき初めて献血
に行き、自分の血液が誰かの役に
立っているということを知りまし
た。献血は病気の治療や手術等
のために、健康な人が自らの血液を
無償で提供するボランティア。その
素晴らしさを多くの人に知ってほ
しいと思っただけです」と活動に参
加したきっかけを語ってくれた小島
さん。現在では、自ら献血キャン
ペーンを仲間とともに企画運営し、
献血の魅力を発信しています。

活動資金

ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

- 株式会社ジーノット 様
- 株式会社F&Cホールディングス 様
- 株式会社名古屋グランパスエイト 様
- 株式会社八幡ねじ本社 様

赤十字事業は、皆さまからの活動資金の
ご協力によって支えられています。

郵便振替口座／00860-1-732

日本赤十字社愛知県支部

郵便局備え付けの払込取扱票でお手続きください。ご不明な点は
日本赤十字社愛知県支部事務局総務企画部赤十字会員課まで。

TEL 052-971-1596 (直通)

日本赤十字社 愛知県支部 日赤あいち
Japanese Red Cross Society

〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50 TEL 052-971-1591 (代表)
発行元／日本赤十字社愛知県支部 発行日／令和3年4月1日

No. 34

愛知県学生献血連盟 Aichi Go

委員長 小島 悠輔さん 副委員長 長谷川 英里さん

活動内容

県内の学生による献血推進ボランティア団体。昭和61年から活動しており、学生自ら献血キャンペーンを企画運営するほか、所属学校内での献血実施や他県の学生献血連盟との研修会を実施するなど、献血を広めるために活動。

小島 悠輔さん

長谷川 英里さん



令和3年度事業計画と予算の概要

令和3年度における日本赤十字社愛知県支部の事業計画および一般会計歳入歳出予算についてご報告します。

事業計画の概要

災害救護活動と救護看護師の養成

大規模災害や豪雨などの局地的な災害の発生に備えて、行政、消防、警察等各種関係機関と連携した救護訓練の実施や、各市町村への救護資材の配備など、災害救護体制のさらなる強化を図ります。また、市町村を会場として、近隣医療機関等と連携した救護訓練を実施し、地域との一層の連携強化を進めるとともに、防災・減災の啓発や知識、技術の普及を目的として、赤十字防災教育事業を展開してまいります。

救急法や健康生活支援講習などの普及

人命救助の方法や自立に向けた高齢者の介護方法など、多様なニーズや受講者のライフステージに応じた各種講習を実施いたします。従来の方法に加え、感染防止に配慮したオンライン講習を導入し、さらなる普及拡大に努めてまいります。また、多文化共生社会の実現に向けて行政と連携し、「やさしい日本語」によるテキストを活用した講習を通じて、外国人住民の赤十字事業への参画を進めてまいります。

赤十字ボランティアの活動と育成

各地域での赤十字講習の普及、防災教育教材の活用、子ども・子育て世代への支援などに加え、コロナ禍の影響を受けた方々の支援など地域のニーズに即した奉仕団活動の充実に努めてまいります。

青少年赤十字の育成と普及

県内の小・中・高等学校等合わせて全体の約6割に上る加盟校に対し、防災教育の推進や学校や地域で活躍できるリーダーの育成など、青少年の健全育成を目的とした各種事業を実施するとともに、さらなる加盟校の増強を図ってまいります。

救急医療体制の整備

名古屋第一赤十字病院・名古屋第二赤十字病院では、地域の中核病院として救急医療をはじめ、周産期医療、小児医療、がん医療、骨髄移植、腎臓移植等の高度な医療の機能を備えた医療体制の充実に努めます。

一般会計歳入歳出予算の概要

歳入

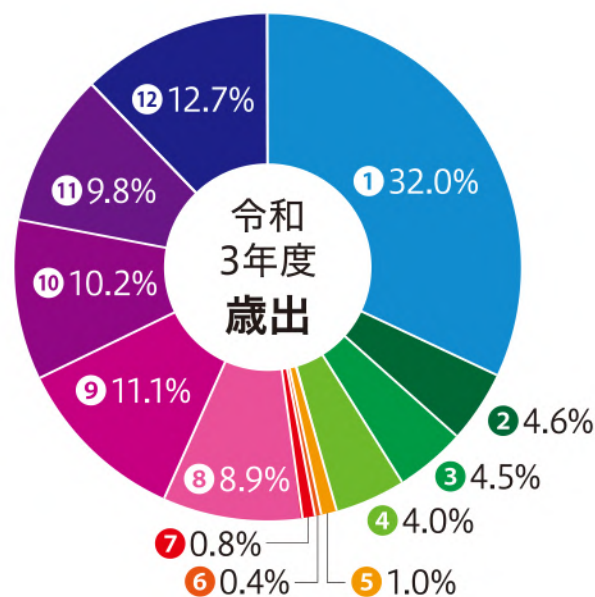
1 社資収入	1,082,000,000円	90.5%
2 補助金及び交付金収入	5,388,000円	0.5%
3 繰入金収入・資産収入・雑収入	22,093,000円	1.8%
4 前年度繰越金	86,186,000円	7.2%

計 1,195,667,000円 100.0%

歳出

1 災害救護事業と救護看護師の養成	383,093,000円	32.0%
2 救急法や健康生活支援講習などの普及	54,888,000円	4.6%
3 赤十字ボランティアの活動と育成	53,607,000円	4.5%
4 青少年赤十字の育成と普及	48,205,000円	4.0%
5 社会福祉事業など	11,442,000円	1.0%
6 血液事業の普及啓発	4,818,000円	0.4%
7 国際的な活動	10,077,000円	0.8%
8 広報・活動資金募集	105,148,000円	8.9%
9 赤十字病院救急医療体制の整備	133,007,000円	11.1%
10 市町村における赤十字活動	121,400,000円	10.2%
11 全国的な赤十字活動	117,750,000円	9.8%
12 支部の運営	152,232,000円	12.7%

計 1,195,667,000円 100.0%



※事業計画の詳細については、
日本赤十字社愛知県支部ウェブサイトでご覧いただけます。

災害に終わりはない
「ACTION! 防災・減災」

東日本大震災から10年、いのちのために今うごく

日本赤十字社は今年3月、皆様と共に災害に備えるための活動「ACTION! 防災・減災」を全国で展開。「#あなたの備えがみんなの備えに」を付けたSNS投稿を通じて、災害への備えに関するそれぞれの取り組みを共有し合うキャンペーンには、大変多くの方にご参加を頂き、様々な備えの知恵や工夫が広がりました。愛知県支部でもウェブサイトやSNSを通じてキャンペーン参加を呼び掛けるとともに、パートナーシップ協定を結ぶスポーツチームと協働して、いつ起こるか分からない災害に対して、“今”備えることの大切さを呼びかけました。



左／名古屋グランパスの試合会場で災害への備えを啓発
右／三遠ネオフェニックスの試合会場で実施された防災を啓発するライブペインティング

新型コロナウイルスに関する啓発教材を配布

あなたならどうする？皆で考えるきっかけに

新型コロナウイルスの感染拡大により、2度目の緊急事態宣言が発出されていた2月中旬、県内の小中学校に愛知県支部が作成した小冊子「コロナに負けるな! STOP COVID-19」が届けられました。本教材は、新型コロナウイルスがもたらす不安や差別についてわかりやすく説明するとともに、「もし自分が体調を崩したら」、「友達が感染したら」など、身近な例を挙げて考えられる内容となっています。保護者の方から、「子どもに安心して読ませることができ、また多くの人に読んでほしい内容」との声もいただきました。これからも愛知県支部は子どもたちが、苦しんでいる人や悲しんでいる人のために、「気づき・考え・実行する」ことができるよう、青少年赤十字事業を通じて働きかけを続けていきます。

本教材のデータは、当支部ホームページからご覧いただくことができますので、ぜひお役立てください。



配布先の中学校で教材を手にした生徒たち

救急法等のオンライン講習を開始

コロナ禍でもいのちを守る方法を伝えたい

愛知県支部では、従来の指導員派遣型の講習と並行して、新たにオンライン会議システムを活用した講習会の受付を開始しました。オンライン講習では、各家庭や各事業所をつなぎ、1つの会場に集合せずに講習を受講することができるため、人と人との接触機会を減らした形での講習実施が可能です。赤十字は新型コロナウイルス感染症蔓延下においても、いのちと健康を守るための赤十字講習を続けてまいります。ぜひ団体での実施や、個人での参加をご検討ください。オンライン講習のお申込み方法等については、支部公式ウェブサイトでご覧いただけます。



上／受講用の資機材は事前に貸し出します
右／自宅から気軽に受講できると、子育て中の方にも評判



ウェブサイトがリニューアル

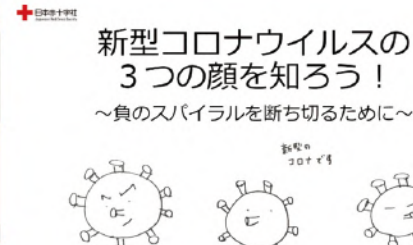
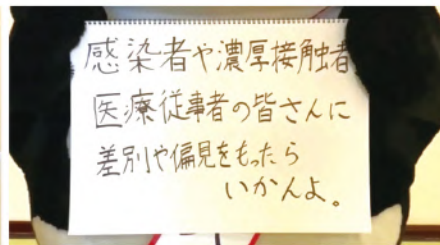
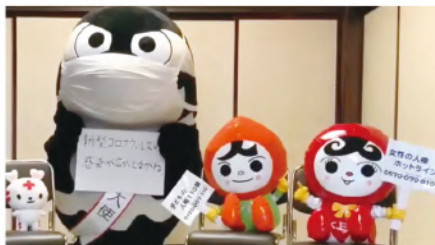
よりわかりやすく、安全性の高いサイトを目指して

4月1日から日本赤十字社（本社および支部）のウェブサイトがリニューアルいたしました。これに伴いURLが変更となるため、ブラウザの「ブックマーク」や「お気に入り」に登録いただいている場合には、お手数ですが変更をお願いいたします。今後も最新の情報や事業紹介を発信してまいりますので、SNSや広報誌と併せてご覧ください。



新サイトはこちら

新型コロナウイルス感染症に対する取り組みでも協働

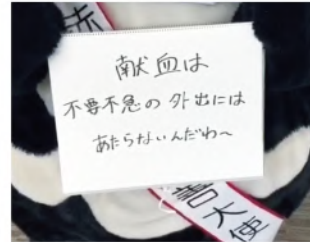


新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見をなくしたい

名古屋法務局との三者コラボにより、新型コロナウイルス感染症に罹患した方や、濃厚接触者、医療従事者などへの差別や偏見を防止するための啓発メッセージを発信しました。赤十字からは教材「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」と動画「ウィルスの次にやってくるもの」を紹介しました。

コロナ禍で減少した献血の協力を呼びかけ

緊急事態宣言下であった4月下旬、イベントの中止や外出自粛の動きに伴い献血者の減少が深刻な状況の中、「献血は不要不急の外出にはあたらない」と、グランパスくんが動画を通じて献血への協力を呼びかけました。

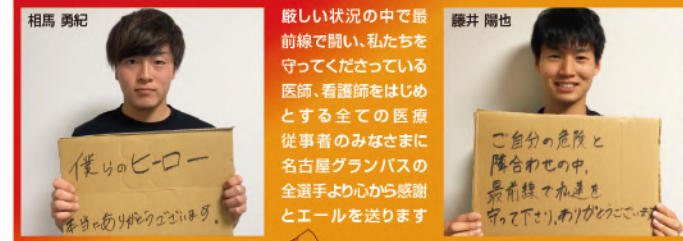


選手会から病院職員への応援メッセージ

目の前の患者を救うために最前線に立って治療にあたる医療従事者を応援したいと、選手会の皆さんから病院職員へのメッセージが届きました。



新型コロナウイルスと闘い続けてくださっている医療従事者のみなさまへ



グランパスくんファミリーも医療従事者のみなさまを応援しています!



名古屋グランパスと愛知県支部が、赤十字活動の理解促進と、サッカーを通じた地域の活性化について協働していくことを目的に、パートナーシップ協定を締結してからちょうど10年が経ちます。本号ではその歩みを振り返ります。

10年の歩み

この10年、様々な取り組みを行ってきました。その一部をご紹介します!

- 2011.4 パートナーシップ協定を締結、グランパスくんが赤十字親善大使に就任し、赤十字の各種キャンペーンやイベントに参加を開始!①
- 2012.3 試合会場で東日本大震災における赤十字の活動を紹介するとともに、選手が義援金を受付②
- 2012.9 青少年赤十字加盟校で開かれた、特別防災授業にグランパスくんが参加③
- 2013.11 田中マルクス闘莉王選手の想いにより、選手による初の赤十字病院の小児病棟慰問が実現④
- 2014.12 NHK海外たすけあいキャンペーンのためのチャリティイベントへ選手が参加⑤
- 2015.7 グランパスのスタッフ向けにAEDの使い方など赤十字講習を開始⑥
- 2015.7 売り上げの一部が寄付されるチャリティコラボTシャツを制作、試合会場等で販売⑦
- 2016.6 選手が支部を訪問し、平成28年熊本地震の義援金を寄付⑧
- 2017.7 愛知県支部とパートナーシップ協定を結ぶ3チーム(名古屋グランパス、名古屋オーシャンズ、三遠ネオフェニックス)が赤十字病院を合同慰問⑨
- 2018.3 試合会場で防災啓発活動、赤十字ボランティアらがセンターサークルシートをもって入場⑩
- 2019.3 試合会場で防災減災プロジェクトをPR、ブース来場者にコラボ缶バッジを配布⑪
- 2020.3 防災コラボグッズLOOPSを作成、売り上げの一部が寄付につながる仕組みに⑫
- 2020.4 グランパスくんが動画で献血協力呼びかけ
- 2020.5 選手会から赤十字病院へ応援メッセージが届く
- 2020.9 名古屋法務局と三者コラボにより、新型コロナウイルスに関する差別や偏見の防止をよびかけ
- 2020.12 グランパス選手会が発案したチャリティエコバッグの売り上げの寄付のため、小西代表取締役とグランパスくんが支部を訪問⑬



名古屋グランパス×日本赤十字社愛知県支部 パートナーシップ協定締結から10年

